

# 熱海・伊東地域 大規模氾濫減災協議会

令和元年6月3日

協議会事務局

1

## 1 振り返り

## 豪雨の激化・台風の大型化

- H27.6 水防法改正 浸水想定の対象洪水を想定最大規模に引き上げ
- H27.9 関東・東北豪雨 鬼怒川の堤防決壊、逃げ遅れ多数
- H27.12 国土交通省「水防災意識社会再構築ビジョン」 直轄河川で水防災協議会設置
- H28.8 東北の台風上陸 岩手県管理河川が氾濫し、高齢者福祉施設で多くの犠牲者が発生
- H29.1 「水防災意識社会再構築ビジョン」の取組を中小河川にも拡大  
県管理河川で減災協議会設置
- H29.6 水防法改正  
大規模氾濫減災協議会制度を創設（法定協議会へ移行）
- H29.7 九州北部豪雨  
「中小河川緊急治水対策プロジェクト」（透過型砂防堰堤、河道掘削、危機管理型水位計の整備）
- H30.7 西日本豪雨  
「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」（重要インフラの緊急点検）

## 【5年間で達成すべき目標】

**逃げ遅れによる人的被害をなくすこと**

水害リスク情報等を共有することにより、流域全体で防災意識の向上を図り、要配慮者利用施設等を含めて命を守るための確実な避難を実現すること

**氾濫発生後の社会機能を早期に回復すること**

水害による社会経済被害を軽減し、氾濫が発生した場合でも早期に社会経済活動を再開できる状態に回復すること

上記目標の達成に向け、以下の取組を実施する。

**取組（1）**

- ・水害リスク情報等の共有による確実な避難の確保のための取組

**取組（2）**

- ・洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組

## 取組(1)

## ・水害リスク情報等の共有による確実な避難の確保のための取組

(1)-1 要配慮者利用施設における  
確実な避難に向けた取組

- ・要配慮者利用施設の管理者等を対象とした防災情報等の提供
- ・確実な避難体制の確保のための避難確保計画の作成、避難確保計画に基づく避難訓練の実施の促進

## (1)-2 確実な避難勧告の発令に向けた取組

- ・避難勧告等の発令を想定した訓練の実施及び発令基準の点検
- ・ホットライン体制の構築
- ・ホットラインや洪水対応演習などの情報伝達訓練の充実

## (1)-3 水害リスク情報等の共有に向けた取組

- ・最大クラスの洪水を対象とした洪水浸水想定区域図への見直し
- ・洪水浸水想定区域図の見直しに伴う洪水ハザードマップの改良と周知
- ・タイムラインの導入の推進
- ・水位周知河川の拡大の検討
- ・水害リスク情報の収集、周知方策の充実
- ・水位計・河川監視カメラの増設の検討

## (1)-4 避難行動を促す取組

- ・雨量や水位に係るリアルタイム情報の提供
- ・出前講座等を活用した住民向けの防災情報の説明会・訓練の充実
- ・県から市町への情報収集要員(リエゾン)の派遣の検討
- ・避難勧告等発令の判断、伝達マニュアルの検証及び情報共有

5

## 取組(2)

## ・洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組

## (2)-1 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組

- ・水防訓練や水防演習等の実施による水防団等との連携
- ・橋脚や護岸等への量水標の設置等による円滑な水防活動への支援
- ・水防活動や緊急復旧活動に活用する資材の充実の検討
- ・県から市町への情報収集要員(リエゾン)の派遣の検討

## (2)-3 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進

- ・河川整備計画等に基づく治水対策の着実な実施

## (2)-2 氾濫水を迅速に排水するための取組

- ・国、各自治体が所有する排水ポンプ車等を活用した排水訓練等の実施
- ・地域が有するポンプ等(消防や建設会社)の活用に向けた情報の整理と共有

## (2)-4 河川における機能の確保

- ・河川内の堆積土砂撤去や樹木伐採等による流下能力の保全
- ・施設の確実な点検、巡視の促進、運用体制の確保

6

各構成機関の取組については、必要に応じて、防災業務計画や地域防災計画、河川整備計画等に反映することなどによって責任を明確にし、組織的、計画的、継続的に取り組むこととする。

原則として、毎年出水期前に構成機関が一堂に会し、[取組の進捗状況を確認](#)し、[必要に応じて取組方針を見直す](#)こととする。

また、実施した取組についても訓練等を通じて習熟、改善を図る等、継続的なフォローアップを行うこととする。

今後、全国で作成される他の取組方針の内容や技術開発の動向等を収集したうえで、必要に応じて取組方針を見直すこととする。

## 2 取組の進捗状況 (フォローアップ)

(1) -2 確実な避難勧告の発令に向けた取組

静岡県

内容	目標時期	主な取組機関
ホットライン体制の構築	平成29年度	静岡県・各市
ホットラインや洪水対応演習などの情報伝達訓練の充実	引き続き実施	静岡県・各市・国

主な内容

・毎年実施する情報伝達訓練等においてホットライン体制を相互に確認する。 **連携訓練により相互で体制確認**



洪水対応演習ホットライン訓練の様子  
 ○水位周知河川 伊東大川  
 ・岡橋水位観測所 (伊東市桜木町)  
 ・9時45分氾濫危険水位 (6.10m) 到達  
 ○訓練実施 (H29.6.27、H30.6.29)

9

(1) -3 水害リスク情報等の共有に向けた取組

静岡県

(ア) 洪水予報河川、水位周知河川における取組

内容	目標時期	主な取組機関
最大クラスの洪水を対象とした洪水浸水想定区域図への見直し	平成30年度	県

主な取り組み内容

・平成27年の水防法改正に基づき**想定最大規模の降雨に対する洪水浸水想定区域図**を作成し公表。

**水防法に指定済みの全46河川の見直しを完了 (県全体)**

**今後、市町においてハザードマップの更新業務に着手**

洪水浸水想定区域図 (想定最大規模) の例



熱海・伊東地域における  
洪水浸水想定区域 (想定最大規模) の公表河川

伊東大川 :  
 ・平成31年3月29日公表 (静岡県告示第280号)  
 ・県ホームページでの掲載  
 ・県庁、熱海土木事務所での縦覧

※洪水浸水想定区域図は、利便性向上のため  
静岡県GISへも登載

10

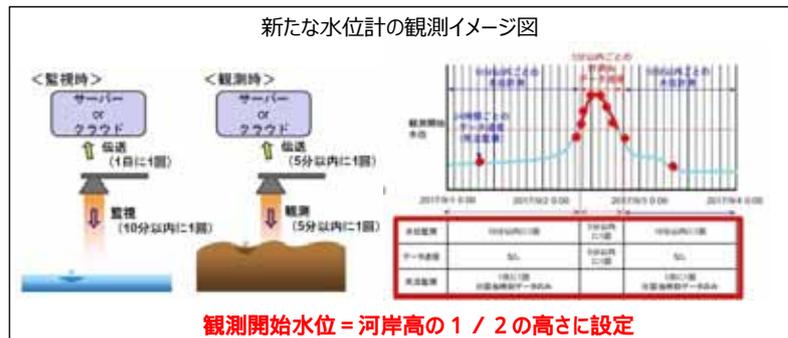
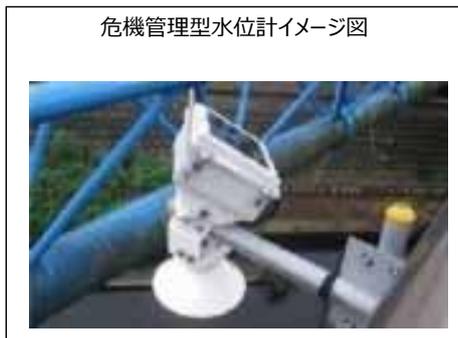
(イ) その他の河川(区間) における取組

内容	目標時期	主な取組機関
水位計、河川監視カメラの増設の検討	平成29年度 から順次実施	県・市

主な取り組み内容

・河川水位情報が入手できなかった空白河川のうち、市町・病院等の重要施設等に係る県河川105河川を対象に、**危機管理型水位計**を整備。(熱海・伊東地域は10河川)  
**市町・病院等の重要施設、重要水防箇所等が所在する河川の水位情報が入手可能(情報空白河川の解消)**  
 ・整備した危機管理型水位計の観測データは、「[川の水位情報](#)」のホームページにて**閲覧可能**となっており、市町においても避難警戒体制に新たな情報として活用がされる。(将来的にはサイボスレーダーに取り込み、閲覧可能とする)  
**一般住民の方もリアルタイムで閲覧が可能**

◆危機管理型水位計の状況



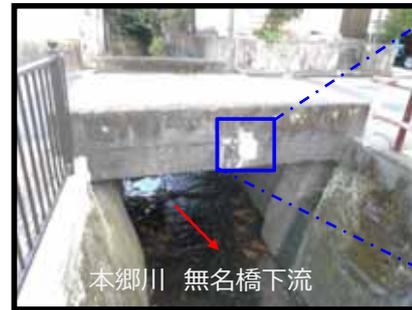
(イ) その他の河川(区間) における取組

内容	目標時期	主な取組機関
水位計、河川監視カメラの増設の検討	平成29年度 から順次実施	県・市



(イ) その他の河川(区間) における取組

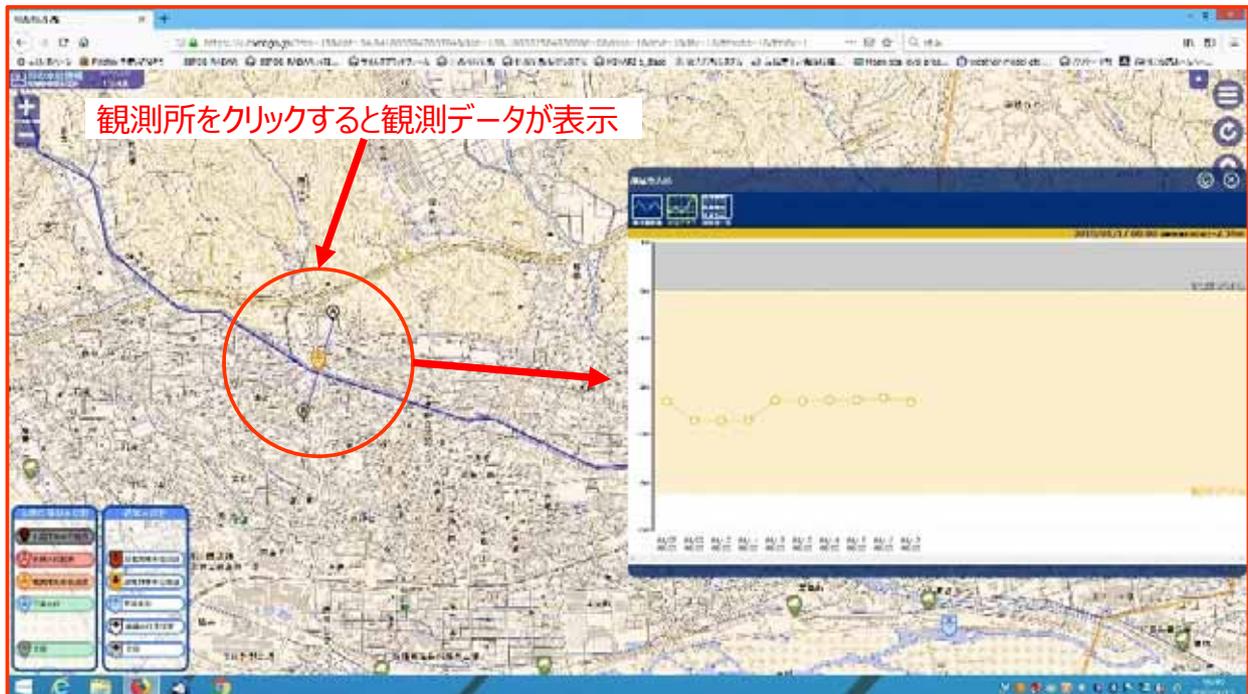
内容	目標時期	主な取組機関
水位計、河川監視カメラの増設の検討	平成29年度から順次実施	県・市



13

『川の水位情報』 ([URL:https://k.river.go.jp](https://k.river.go.jp))

で危機管理型水位計の観測データが閲覧できます。



内容	目標時期	主な取組機関
雨量や水位に係るリアルタイム情報の提供	引き続き実施	国・県・市

主な取り組み内容

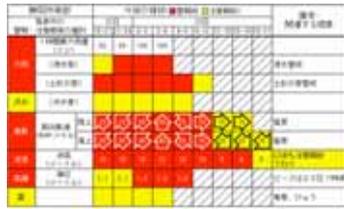
・避難や水防活動に役立つ雨量、河川水位、気象情報等の[リアルタイム情報をホームページ等で提供](#)

「サイボスレーダー」携帯電話画面



気象台 情報の見える化

危険度を色分けした時系列



洪水警報の危険度分布



流域雨量指数の予測値

市区町村	基準河川	基準Ⅲ	基準Ⅱ (警報基準)	基準Ⅰ (注意報基準)	04時	05時	06時	07時	08時	09時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	既往最大事例	
熱海市	熱海宮川	6.3	5.7	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.1 (2002.10.01)
熱海市	熱海和田川	6.4	5.8	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.2 (2005.08.25)
伊東市	伊東大川	17.6	15.9	12.7	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	15.2 (2008.09.20)

15 (防災対応への活用を期待)

内容	目標時期	主な取組機関
水防訓練や水防演習等の実施による水防団等との連携	引き続き実施	国・県・市

主な取り組み内容

・構成機関のみならず水防団等も含め、[合同で重要水防箇所等の巡視及び点検](#)を実施。

**関係機関において重要水防箇所等の洪水時に注意を要する箇所を共有**

合同巡視 県・熱海市(H30.5.30)



熱海市 初川

合同巡視県・伊東市(H30.6.4)



伊東市 烏川

内容	目標時期	主な取組機関
河川整備計画等に基づく治水対策の着実な実施	引き続き実施	県・市
主な取り組み内容 ・河川整備計画に基づき、 <u>河道拡幅等の河川改修を計画的に実施</u> <b>治水安全度の向上に寄与</b>		

烏川河川整備計画 局地豪雨緊急対策事業



H16年10月台風22号浸水状況



根継工、河川断面拡幅状況



H30年度 根継工、河川断面拡幅 L=60mを実施

